早期解決が望まれる「し尿処理」

6月定例 市議会

〝三案〟とも、いまだ不透明……

六月議会は、十五日から二十三日までの日程で開かれ、国民健康保険税の改正や市道の認定など七議案を可決、一議案を認定、前回までに継続審査になっていたものを含めた二十件の請願、陳情のうち五件を採択、他は継続審査としました。

また、生産者米価の引きあげに関する意見書など三件を可決、閉会しました。一般質問は十八日から三日間の日程で、竹内、今井、高島、沢村、門田、吉村、小沢、島崎、岡林、岩原、徳橋、岡崎、竹田、堀川の十四氏からし尿処理など当面の課題についての質問がありました。市長は提案理由の説明にさきだち、五十三年度の決算見込みにふれ、実質収支が六年ぶりに黒字になる（約二億二千万円）こと、しかし二つの開発公社の金利などの「重い荷物」があるために、ひきつづいて努力が必要なこと、空港については今後水や騒音公害が予測されるので、国や県にその防止の予定や見解をつよく要請していること、し尿処理は執行部の力不足で各方面へ大へん迷惑をかけた、廃棄物処理委員会などのご協力をいただき早期に恒久施設設置へのメドをつけたい、それまでは黒滝地区のみなさんにご理解とご協力をいただいて、なんとか従来の処理方法を続けさせていただくよう全力をつくします、と所信をのべました。

可決された議案

■家庭相談員の報酬が月額六万三千五百円から六万六千百円に。

■国保税賦課限度額が十九万円から二十二万円に……。

減額対象世帯の控除額十六万円を十六万五千円に……。

■東部児童センター、農業共同利用作業所が完成し、条例に加えられました。

■林道天行寺西谷線、農免道路東崎岩村線が市道に認定されました。

■市固定資産評価審査委員会委員に、郷久保幸重氏を選任。

■香美郡の全町村と本市でつくっていた「香南広域行政事務組合」がこの三月三十一日で解散。五月十一日監査が終り、認定されました。

■農免道路上倉基幹農道（中谷、上倉をむすぶ）の舗装を七年計画で実施します。

一般質問から

―財政―

三月議会で言いつくされたのか、また予算議案もなかったのでほとんど質問はありませんでした。しかし、五十三年度二億二千万円の黒字でも、両開発公社に支払うべき金額もこの一年間に二億円の増となっているので効果はうすいということになります。

―空港―

□周辺整備に関する県との覚え書をすでに交換し終っていなければならないが、まだと聞いています。どんな事情があるのですか。市がもっと積極的に県へはたらきかける必要があると思います。

■県から一度案をいただきましたが、それが満足できるものではなかったのでお返しして再度検討してもらっていますし、事業計画もあわせてお願いしていますので、今少し時間をください。

□切戸放水路改修関連事業は周辺整備事業とはきりはなして考えなければならないと思うが。

■そのように認識しています。

―同和対策―

□共同作業所が閉鎖されたが次の対策はたてているのですか。

■残念だが閉鎖しました。次にどのような企業がくるかは、はっきりはしていません。しかし最後の決定は企業が行うと思います。

□事業実施の際、地区に意見のくいちがいが起ることがあるので、市は公平に行政をしてください。残念なことに最近差別発言がありました。はっきり解明して部落差別をなくしてください。

■どんな事業でも、地元のみなさんのご協力がなければ完成はできません。行政の公平化は常に心がけています。

□特別措置法が三年延長になりましたが、初年度を調査、あと二年で事業実施という予定ですが、計画は完了できますか。

■完了に全力をあげますが、前にもおはなししたように、調査が終って実施の際の地元のご協力にかかると思います。

□県道後免中島高知線の整備と納骨堂の調査の進ちょく状況はどうなっていますか。

■県道は測量が終って、用地取得の段階です。納骨堂の調査はまだ手をつけていません。議会終了後すぐ協議します。

きょうの話題・あすの話題

―し尿処理―

□経過、現状、見通しの説明を。

■私ども執行部の力不足のため、市民や黒滝地区のみなさんに大変迷惑をかけ申しわけありません。

地区や議員のみなさんのご好意で当面は、現行通り処理を続けられる見通しがついています。恒久処理施設設置については①香長処理組合への加入②黒滝地区への設置③その他の地区への設置の三案が考えられますが、すべてが今のところ見通しがついていません。

しかし、恒久処理施設は早急に必要ですので、調査をすすめるとともに①についてもその可能性をさぐっていこうと思います。いずれにしても①②③ともにかなりの時間が必要ですので、新しい処理が始まるまでは黒滝での今まで通りの処理をさせていただくよう、誠心誠意、礼をつくしてお願いするつもりです。

―領石インターチェンジ（I.C）―

□空港は県の空の玄関、領石I.Cは県の陸の玄関だと位置づけるべきだと思うが。

■そのように理解しています。

□地元からの十項目の要求が出ているが、これを実現するために県とどんな交渉をしていますか。

■一部実現に問題があると思われるものもあるので道路公団、県、市、地元などで調整をすすめます。

―水問題―

□水行政を市政の柱に加え、水資源総合調査をするつもりは……。

■市全体の問題としてとりあげてこれから部内で検討します。

市民のみなさんにも「水」に対する考え方を大きく変えてもらわなくてはなりません。今までのように「湯水のごとく」ではなくて「節約」の精神をもっていただかなければなりません。

□奈路のツヅラ川の水の減少の原因調査は……。地区への生活用水の確保についての見解を……。

■原因は学問的にも調査しています。上水の確保は当然急がなければなりませんが、水源の確保が課題です。

―林業振興―

□山林のはたす役割は、私たちの生活に直接影響してきますが、本市の林業行政は少し軽んじられているように思うが……。

■予算的にはたしかに弱い。財政の好転をまって、林道の整備や森林組合の合併も促進していきます。

―比江山処分―

□五十三年度中に処分をするという予定が、大幅に遅れている。高い金利が必要なので一日も早く契約できる環境をつくらなくてはならないと思います。

■地元からの実測の了承もいただきましたので、急いで売却できるよう努力します。

―防災―

□奈路の宅地造成現場を見ましたが、あれでは災害の危険があります。どのような行政指導をされましたか。

■たしかに経済優先の造成だと思いますが法にふれるという訳ではないので、県とともに現地へ行き、安全優先の造成をするよう、指導要綱により強力に指導しました。

―市制二十周年―

□市長の姿勢を……。

■財政が苦しい時なので、ハデなことはできませんが、市民のみなさんに喜んでいただけるような内容のあるものにしたいと、議会とも相談をしています。記念式典は九月二十八日の予定です。同時に図書館も開館します。図書館には最低でも一万冊は必要だと思いますので、市民のみなさんのご協力もいただきたいと思っています。

―比江山処分―

□稲転はスムーズに推移していますか。また、米の限度数量はどうですか。

■市への割りあてはなんとか消化（転作）できそうです。限度数量は昨年並みの七千トン（うるち）弱です。

―教育―

□今年は国際児童年、市独自の児童元年として「児童行政」の推進をはかることにしてはどうですか。

非行化がいわれているインベーダーの対策はどうなっていますか。

■市内には多くの子供会組織があるのでこれの活用などを考えてみます。児童年は子どものためにあるばかりでなく、大人にとっても大問題でなくてはなりません。子供の各種行事への参加とともに、大人への協力要請をよびかけます。

インベーダーは、市内に約四十台あります。ゲームをしてはならないという規制はありませんが、校長会あたりでは、立入禁止という方向で検討しています。

□子どもをとりまく環境はまだまだ危険がいっぱいです。今年を契機に点検、整備はできないものでしょうか。また国際婦人年も今年で五年目、市制二十周年や児童年ともあわせて「はたらく婦人の家」の建設を実現してください。

■その趣旨はよくわかります。総点検は部内で調査、「婦人の家」は財政の重荷にならないよう検討してみます。

―福祉―

□①母子家庭に対する通院補助を。②独居老人などを一日一回訪問する「老人福祉連絡員」の設置は。③地域での奉仕活動中の事故に対する見舞金制度の設置は。

■いずれもまだ検討していないものばかりなので、財政を圧迫しないよう配慮のうえで実施できるものからやっていきたいと思います。

―市民サービス―

□昼休みの窓口サービスについては、すでに高知市や土佐山田町で実施され、好評だときいています。

本市でも先の議会で職員組合と話しあうということでしたが……。

■近く職員組合とともに実施している自治体へ調査に行く予定です。

このほか――今の市政は議会主導型のようだ。執行部、議会ともに反省する必要がありはしないか。市の内部の連絡、調整があまりよくない。行政のテンポが遅れる原因ともなるので十分注意してください。――などの「意見」もありました。